

Feng-Shui Gallery

special edition vol.94

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『色彩による空間イメージの比較』

～家具やカーテン、小物の色彩によるアクセント～

<写真 1>明るいベージュ系統の壁・天井で構成されたダイニングスペース。カーテンと椅子の色をオレンジで統一した空間は、活発なエネルギーが溢れ、良い気が充満した空間デザインとなっています。一方、椅子を黄色、カーテンをミントグリーンにした空間は、スッキリとしたスタイリッシュなイメージで、室内の気がスムーズに流れるデザインとなっています。<写真 2>カーテンや椅子以外に、ラグやクッションカバーの色彩を変えることも、室内のイメージに変化を与えることが可能です。ターコイズブルーやマスタードイエローなどのビビットな色彩は、ベージュやグレージュなどの少しくすんだ色彩との相性が良く、爽やかなイメージを与えてくれる為、春～夏に適したカラーリングと言えます。オレンジや茶色系の色彩は、温もりを感じさせる色彩の為、秋～冬に適したカラーリングとなっています。季節ごとに交換すると、日々の生活に変化を与えることができます。<写真 3>暖色系と寒色系の色彩を比較したリビング空間写真。白い壁だと寒々しく感じられるスカイブルーのカーテンも、壁にベージュ系の色彩が施されていることで、爽やかな印象に変化させることが可能です。寒色系のアクセントカラーを用いる場合、部屋の照度が足りないと暗いイメージになりがちなので、スタンド照明などを追加して、照度を確保することも大切です。



<1>



<2>



<2>



<3>



<3>



<1>

風水住宅では、壁や天井の色彩にベージュやクリーム色などの暖色系を採用し、明るい温もりのある空間になるようにデザインしています。カーテンや家具の色彩は、アクセントになるようなビビットな色を選ぶことで、空間のイメージに大きな変化を与えることが可能です。